

開催プログラム

日時：令和8年7月4日(土)、5日(日)

会場：福島県立医科大学 保健科学部 福島駅前キャンパス

〈1日目〉

11:00～	受付開始		
12:00～12:30	開 会 式		
12:30～13:10	学会長講演(A会場) 共創を基盤としたAI時代の作業療法イノベーション 講師：五百川 和明(福島県立医科大学)	教育講演1(B会場) 災害疫学研究から考える社会参加と健康 講師：高梨 信之(岩手医科大学)	教育講演6(C会場) 現在の避難所での生活環境にどんな転倒リスクがあるか？ 講師：浅尾 章彦(福島県作業療法士会災害対策委員会/福島県立医科大学)
13:20～14:20	特別講演1(A会場) 生成AIによる作業療法のArt & Science —感性デザイン思考と共創による新たな展開 講師：程 子学(会津大学 名誉教授) 座長：五百川 和明(福島県立医科大学)	口述演題(B・C会場)	
14:30～15:30	教育講演2(A会場)(14:30～15:10) 地域在住高齢者の休息は健康に影響するか？ 講師：久米 裕(秋田大学大学院)	口述演題(B・C会場)	
15:40～16:40	特別講演2(A会場) デジタル時代の作業療法実践モデル 一個性に応じた情報の統合・最適化と迅速な実装— 講師：林 園子(ICTリハビリテーション研究会/ファブラボ品川/東京家政大学) 座長：川崎 伊織(福島県立医科大学)	口述演題(B・C会場)	
18:00～19:30	懇 親 会		

〈2日目〉

9:00～9:40	特別講演3(A会場) 発達作業療法の近未来 講師：倉澤 茂樹(福島県立医科大学) 座長：二階堂 静(介護老人保健施設たいわ)	教育講演3(B会場) 認知機能低下に予防的作業療法は効果があるのか？ 講師：藪脇 健司(東北福祉大学)	教育講演4(C会場) 痙縮の臨床評価は何を診ているのか？ 講師：仁藤 充洋(山形県立保健医療大学)
9:50～10:50	教育講演5(A会場)(9:50～10:30) 脳卒中後の運転再開可否予測において作業療法士が問うべきこと —エビデンスの前提条件と生成AIの限界— 講師：外川 佑(山形県立保健医療大学)	口述演題(B・C会場)	
11:00～12:00	シンポジウム(A会場)(11:00～12:20) AIによる作業療法の予後予測の未来 —診療支援システムのAI実装による革新と課題 リハビリテーション管理システムに蓄積された臨床データを用いたAI予後予測ツールの実装 講師：西川 正一郎(タック株式会社) 回復期リハビリテーション病棟における予後予測は何をどこまで予測できるか？ 講師：藤田 貴昭(福島県立医科大学) 座長：塚田 徹(竹田綜合病院)	口述演題(B・C会場)	
12:30～13:00	閉 会 式		

プログラム

学会長講演

7月4日(土) 12:30～13:10 A会場(多目的ホール)

共創を基盤とした AI時代の作業療法イノベーション

五百川 和明(福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科)

特別講演

特別講演1

7月4日(土) 13:20～14:20 A会場(多目的ホール)

座長：五百川 和明(福島県立医科大学)

SL1 生成 AIによる作業療法の Art & Science —感性デザイン思考と共創による新たな展開

程 子学(会津大学 名誉教授)

特別講演2

7月4日(土) 15:40～16:40 A会場(多目的ホール)

座長：川崎 伊織(福島県立医科大学)

SL2 デジタル時代の作業療法実践モデル —個別性に応じた情報の統合・最適化と迅速な実装—

林 園子(ICT リハビリテーション研究会 理事長)

特別講演3

7月5日(日) 9:00～9:40 A会場(多目的ホール)

座長：二階堂 静(介護老人保健施設たいわ)

SL3 発達作業療法の近未来

倉澤 茂樹(福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科)

教育講演

教育講演1

7月4日(土) 12:30～13:10 B会場(講義室1)

EL1 災害疫学研究から考える社会参加と健康

高梨 信之(岩手医科大学 衛生学公衆衛生学講座)

教育講演2

7月4日(土) 14:30～15:10 A会場(多目的ホール)

EL2 地域在住高齢者の休息は健康に影響するか？

久米 裕(秋田大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 作業療法学講座)

教育講演3

7月5日(日) 9:00～9:40 B会場(講義室1)

EL3 認知機能低下に予防的作業療法は効果があるのか？

籾脇 健司(東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科)

教育講演4

7月5日(日) 9:00～9:40 C会場(講義室2)

EL4 痙縮の臨床評価は何を診ているのか？

仁藤 充洋(山形県立保健医療大学)

教育講演5

7月5日(日) 9:50～10:30 A会場(多目的ホール)

EL5 脳卒中後の運転再開可否予測において作業療法士が問うべきこと —エビデンスの前提条件と生成 AI の限界—

外川 佑(山形県立保健医療大学 作業療法学科)

教育講演6

7月4日(土) 12:30～13:10 C会場(講義室2)

EL6 現在の避難所での生活環境にどんな転倒リスクがあるか？

浅尾 章彦(福島県作業療法士会 災害対策委員会)

[AIによる作業療法の予後予測の未来
— 診療支援システムの AI 実装による革新と課題]

SY1 リハビリテーション管理システムに蓄積された臨床データを用いた AI 予後予測ツールの実装

西川 正一郎(タック株式会社)

SY2 回復期リハビリテーション病棟における予後予測は何をどこまで予測できるか？

藤田 貴昭(福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科)

- O1-1** 「できる動作」と「している動作」の乖離に着目した急性期脳卒中患者の箸操作への支援
～食事日記の導入による行動変容～
黒須 希美 一般財団法人広南会 広南病院
- O1-2** 急性期病棟退院後の脳卒中患者における外来運転評価までの期間に影響する要因の検討
夏井 楓菜 秋田県立循環器・脳脊髄センター 機能訓練部
- O1-3** 軽度片麻痺患者における麻痺側上肢の操作性改善に対する介入
梅津 碧哉 社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院
- O1-4** MTDLP を基盤とした共創的作業療法実践
一視床出血後の麻痺手不使用改善を通して一
白井 恵理哉 社会医療法人将道会 総合南東北病院
- O1-5** もう一度姉にご飯を食べさせたい
～調理獲得を目標に重度左片麻痺患者に対し複合的な上肢アプローチを行った事例～
中野 聡美 一般財団法人脳神経疾患研究所附属 南東北福島病院

- O2-1** 入院中の関節リウマチ患者に対する SARAH modified Exp の取り組み
菊池 瑞恵 山形大学医学部附属病院 リハビリテーション部
- O2-2** 肘関節完全離断に対する再接着術後患者の長期的な作業療法の介入報告
佐藤 夏海 福島県立医科大学附属病院 リハビリテーションセンター
- O2-3** 残存する認知機能を活かし、コルセット・脱臼管理が定着した症例
佐藤 夏星 一般財団法人脳神経疾患研究所附属 南東北福島病院
- O2-4** 立位安定性改善を図った頸椎症性脊髄症の症例
～固有受容感覚情報に着目して～
齋藤 未桂 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海酒田リハビリテーション病院
- O2-5** 橈骨遠位端骨折後の疼痛による機能障害に多面的アプローチが効果的であった一事例
高木 一輝 いわき市医療センター

- O3-1** 脳梗塞を呈した事例への CI 療法の実践
～目標の可視化によって意欲・使用頻度が向上した一例～
櫻井 美鈴 公益財団法人仁泉会 北福島医療センター
- O3-2** 急性期脳卒中症例の不安に対する
Transfer Package と家事課題を用いた作業療法介入
早坂 洋亮 社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院
- O3-3** 脳卒中後上肢麻痺患者に対し、
課題指向型訓練に先行して促通反復療法を行うことで
復職に必要なパソコンのタイピング操作の獲得に至った一例
齋藤 暁 一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
- O3-4** 重度片麻痺患者における麻痺側上肢の生活場面での使用促進を認めた一例
～健康信念モデルとトランスファーパッケージを用いた介入～
菅原 千隼 医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院
- O3-5** 急性期脳卒中患者に修正 CI 療法を実施し麻痺手の使用頻度が向上した症例
～箸の再獲得を目指して～
佐藤 未歩 一般財団法人広南会 広南病院

- O4-1** Marchifava-Bignami 病により自発性の低下と高次脳機能障害を呈した症例への介入
～トイレ動作自立を目指して～
橋本 琉ノ介 社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院
- O4-2** ヤングケアラーを抱える高次脳機能障害患者への退院支援
～自宅復帰を目指した多職種連携の一例～
荒 文志 社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院
- O4-3** 伝導失語を呈した方の真意表出と家族の保護的姿勢をめぐる葛藤
～視覚的支援を用いた共同意思決定の試みと支援の限界～
高橋 知子 公益財団法人星総合病院
- O4-4** 高次脳機能障害を可視化したことにより、共通理解が深まった症例
～新しい家族の形を築く家族支援とは～
藤原 明佳 医療法人社団脳健会 仙台リハビリテーション病院
- O4-5** 病識欠如により面接評価では顕在化しなかった自己能力が
作業遂行経験により気づきを促し行動変容に至った事例
佐々木 結友 公益財団法人星総合病院

- O5-1** 使用しやすいペットボトルオープナーの柄の太さの検討
～健常者による予備的研究～
木皿 悠太 公益財団法人仁泉会 北福島医療センター
- O5-2** mediVR カグラによる上肢慢性疼痛患者への介入
～疼痛改善と好循環の再構築～
佐藤 孟士 国立大学法人山形大学医学部附属病院
- O5-3** 手指ロボット療法により
麻痺手に対する内観が変化した急性期脳卒中患者の一例
船渡 瑠花 一般財団法人脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院
- O5-4** 失語症を呈する脳卒中患者に対するロボティクスデバイスの活用事例
石岡 明莉 医療法人友愛会 盛岡友愛病院
- O5-5** ベッドリモコン操作の獲得が契機となり
ベッド上での主体的活動が拡大した一事例
遠藤 佳七 一般財団法人脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院

- O6-1** 地域リハビリテーション専門職有志団体「TomeRe:」の活動実践報告
～活動の意義と作業療法士としての強み～
成田 貴 医療法人仁泉会 介護老人保健施設 せみねの丘
- O6-2** 役割再関与に向けた目標設定を通して、生活行為の拡がりが見られた症例
四日市 恭佳 盛岡医療生活協同組合 川久保病院
- O6-3** 地域生活の定着を目指した心理教育プログラムの効果検証
熊坂 圭祐 社会医療法人あさかホスピタル
- O6-4** 精神科デイケアにおける就労支援プログラム参加者の傾向
澁谷 拓真 社会医療法人あさかホスピタル デイケアセンター

- 07-1** eスポーツが拓く作業療法士の新たなフィールド
—医療・介護から地域活動, 教育への展開—
檜木 雄大 フリーランス
- 07-2** AI 動画解析を用いたリーチ動作の運動戦略
～FMA-UE では捉えきれない作業遂行過程の可視化～
四家 志帆 いわき市医療センター
- 07-3** 交通外傷患者に対して生成 AI を用いてセルフマネジメントを支援した事例
～Paper 版 ADOC を使用して～
浅井 拓生 いわき市医療センター
- 07-4** 作業の価値を再認識するため COPM と AI 動画を併用した試み
—回復への自信と意欲の変化に着目して—
鈴木 茉那 いわき市医療センター
- 07-5** e スポーツへの参加が自己表現と役割形成を促した
長期施設入所脳性麻痺者の一事例
～人間作業モデルとナラティブの視点から～
若狭 利伸 社会福祉法人北杜 障がい者支援施設ほくと

- 08-1** 栄養リハと患者教育を軸に自己管理再構築に成功した多疾患併存患者の一例
後藤 瞭輔 医療法人啓人会 石巻ロイヤル病院
- 08-2** 精神保健福祉領域における作業療法士の連携促進に向けた活動報告
鈴木 新吾 秋田県作業療法士会 精神保健福祉対策部
- 08-3** チームアプローチで肺炎予防に努めた一症例
久保 都磨作 一般社団法人竹田健康財団 竹田総合病院
- 08-4** 事例を通して再認識した老健での OT の役割と多職種連携の重要性
佐藤 凧紗 介護老人保健施設 三春南東北リハビリテーション・ケアセンター

- O9-1** しびれ同調経皮的電気刺激を併用した食事動作への介入
～しびれ感軽減から食事動作の再獲得へ～
佐藤 もえ 公益財団法人仁泉会 北福島医療センター
- O9-2** 食事全介助から麻痺手での自助箸操作獲得に至った重度頸髄損傷症例
～「使わなくていい」から「使いたい」手に～
渡部 杏香 医療法人正観会 御野場病院
- O9-3** ADL 訓練や離床を継続し施設入所に向けて支援した症例
小坂 真理 一般社団法人温知会 会津中央病院
- O9-4** 本人にとって意味のある作業獲得により行動変容を促した事例
～バリカン散髪動作の獲得に向けて～
松浦 優佳 公益財団法人仁泉会 北福島医療センター
- O9-5** 回復期リハビリテーション病棟入院患者の入浴動作自立と意欲との関連性
～疾患別リハビリテーション料により分類した分析～
渡邊 奈津望 公益財団法人仁泉会 北福島医療センター

- O10-1** 2養成校での2対1臨床実習の実践報告
～より実践的な臨床参加型実習を目指して～
滝沢 悠 社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院
- O10-2** 高校生における
BWAP2(Becker Work Adjustment Profile 2)の併存妥当性の検討
吉田 優介 株式会社リニエR リニエプラッツ かみのやま
- O10-3** 作業療法士の卒後教育システムに関する検討
～第35回東北作業療法学会アンケート結果から～
椿野 幸子 山形市立病院 済生館
- O10-4** リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算導入前後の実績
金田 麻利子 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院

- P1-1** 重度上肢麻痺患者に対するクエスト形式の課題提示
～参加関節数による段階付けが麻痺手使用促進に与える影響～
鈴木 大貴 公益財団法人磐城済世会 松村総合病院
- P1-2** 脳卒中後上肢痛に対する伸縮性テーピングの適用が麻痺手使用に与えた影響
～破局的思考に着目した右被殻出血の一事例～
藤宮 将大 医療法人社団新生会 南東北第二病院
- P1-3** 若年脳卒中患者における障害理解と障害受容の乖離に着目した作業療法介入
～「私は麻痺じゃない」を合言葉に～
齋藤 成美 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
- P1-4** 急性期における目標設定が困難であった腰椎椎間板ヘルニア事例に対して
段階的な目標設定を通し行動変容・ADL獲得を支援した介入経過：
事例報告
唐橋 佐和 一般財団法人大原医療センター
- P1-5** 橈骨神経高位麻痺を合併した上腕骨顆上骨折に対するハンドセラピの経験
佐々木 香織 一般財団法人温知会 会津中央病院
- P1-6** 手指挫滅後に難治性のばね指を呈した一症例
～受傷前機能との乖離に対する長期的支援～
安保 俊秀 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
- P1-7** 上腕骨近位端骨折(Neer分類4part)保存療法後に
段階的な作業提供により良好な転帰を辿った一事例
猿田 真理絵 医療法人清和会 奥州病院
- P1-8** ICT機器を利用した作業療法支援
～頸髄損傷患者に対する一事例～
渡邊 くるみ 医療法人社団新生会 南東北第二病院
- P1-9** 「歩けるようにならないと帰れない」から意味ある作業再開へ
～回復期大腿骨転子部骨折患者の一事例～
中田 さくら 医療法人社団三成会 南東北春日リハビリテーション病院
- P1-10** 3Dプリンタを用いた自助具で食事動作再獲得に至った
関節リウマチ患者の一事例
荒川 有紗 一般財団法人脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院
- P1-11** 急性期病棟において初回面接評価が困難であった事例への実践報告
白木 望 医療法人松田会 松田病院

- P1-12** 神経因性下部尿路機能障害患者の外出先での排泄方法の検討
—キャンプ先でも間欠的自己導尿を行うために—
鹿目 久美子 一般財団法人南東北福島病院
- P1-13** 下肢の荷重制限と易疲労性がある中で味噌汁作りを目指した1事例
～代償的アプローチの視点を取り入れて～
藤田 春佳 一般財団法人南東北福島病院
- P1-14** 乳房切除・広背筋皮弁再建術後患者に対する作業療法
～術前から復職までの支援～
横地 郁子 竹田総合病院リハビリテーション部 総合リハビリテーション課
- P1-15** 心破裂を合併した心筋梗塞後の事例に対し
参加拡大に向けて生活の再構築を進めた事例報告
佐藤 佑香 一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院

ポスター2

7月5日(日) 9:50～10:30 H会場(作業療法実習室1・2)

- P2-1** 生活行為向上マネジメントを用いた目標共有の実践により、
目標未達成事例を生活期支援へつないだ回復期作業療法介入
阿久津 瑠菜 医療法人社団三成会 南東北春日リハビリテーション病院
- P2-2** 集中治療室における目標設定の意義と作業療法士の役割
柳沼 愛 一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院
- P2-3** 活動・参加レベルに目を向けることが難しい
くも膜下出血後左片麻痺患者に対して
ADOC を用いて目標指向的な協働を進めた事例報告
三浦 理沙 医療法人社団葵会 介護老人保健施設 葵の園・仙台東
- P2-4** 強度の強迫性障害を呈した男性にパソコンを実施し症状の改善が見られた事例
石山 耕平 山形作業療法研究所
- P2-5** 作品づくりを通した内発的動機付けが不登校児の行動変容に繋がった一症例
佐々木 康太 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
- P2-6** 学童期児の保護者における
メンタルヘルスとウェアラブル由来バイオマーカーとの関連
～放課後等デイサービス利用児の保護者を対象とした予備的研究～
前川 弘樹 東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科
- P2-7** 若者ケアラーの作業機能障害およびケアに対する主観的認識
～ヤングケアラーとの比較～
大越 桃子 一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院

- P2-8** 当院にて自動車運転支援を受けた患者の退院後の運転状況について
高橋 俊介 医療法人社団帰厚堂 南昌病院
- P2-9** 回復期リハビリテーション病棟入棟時に TMT-J で異常判定を認めた
脳卒中患者における退院時自動車運転再開可否に関連する因子の検討
大澤 美帆 秋田県立循環器・脳脊髄センター 機能訓練部
- P2-10** 転倒・転落予防対策チームの発足と活動内容
～当院での転倒転落予防カンファレンスの実際～
菊池 研太 医療法人謙和会 荻野病院
- P2-11** MTDLP 事例報告登録制度の合格事例を用いた生成 AI による
事例比較分析
—訪問看護における初學者でも取り組みやすい対象者像の提案—
佐藤 祐樹 株式会社コムロ 訪問看護ステーションあい
- P2-12** 福祉用具貸与事業所における作業療法士の価値
～認知症高齢者夫婦の寝室移動を支援した事例から考える～
前田 二三江 社会福祉法人昌平譽 介護老人保健施設二ツ筋荘
- P2-13** 若手職員に対する行動支援
—発表支援型教育が臨床汎化に及ぼす影響—
小林 みき 一般財団法人脳神経疾患研究所 総合南東北病院
- P2-14** 自立支援型地域ケア会議における作業療法士の助言実態と事例の特徴
～参加報告書の集計分析～
渡部 祐介 一般財団法人総合南東北病院